

令和7年度 かつの商工会アクションプログラム 総括表

戦略	施策	達成状況※1	施策目標(指標)	R7実績値(目標値)	達成状況※2	施策目標に関する検証及び次年度への改善点(要約)
共通戦略	1 革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進	1 伴走型支援の推進による個社経営力の向上	(1) 法認定・各種補助金採択数(件)	133(121)	達成	事業者の経営展望に即した施策活用提案が奏功。次年度は、職員の提案力向上を図りつつ、採択件数の一層の増加を目指すとともに、事業者の自走化の実現に向けた支援を強化する。
			(2) 売上・付加価値向上実現事業者数(件)	65(70)	未達成	課題に応じた販路開拓・商品開発の具体的な実行支援を行った。次年度はフォローアップの充実を図り売上・付加価値向上に繋げる。
		2 創業・事業承継の推進による事業者の確保	(1) 引継ぎ支援センター等へ紹介した事業者数(社)	41(37)	達成	記帳継続指導先の承継相談案件を掘り起こし、相談員と訪問説明するなどした。次年度は高齢事業者に向けた早期の承継準備の必要性を周知していく。
			(2) 起業・創業支援事業	37(27)	達成	創業希望者への支援および従業員承継等を通じた経営未経験者の支援を通じて創業件数を積み上げることができた。次年度も同様の支援を行い、目標値の達成に向けて行動する。
	2 新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進	3 ネットワークの構築と販路開拓	(1) 域外市場への販路開拓取組事業者数(社)	24(24)	達成	専門家指導を通じた域外向けの商品・サービスの見直しにより販路開拓取組支援につながった。次年度は販路開拓意識の高い事業者を掘り起こし、支援先を広げていく。
			(2) 域外市場での販売額等増加事業者数(社)	19(21)	未達成	展示会出展支援を行った結果、成果に差が生じた。次年度は商談対応力、商品訴求力の向上支援を中心に取り組む。
		4 事業者情報の発信、地産地消の推進による地元購買力の向上	(1) 地元購買力向上に取り組んだ事業者数(社)	12(12)	達成	店舗、商品、サービスの見直しを希望する事業者へ専門家を通じて助言指導等実施した。次年度は助言を実行に結び付けるための継続支援を行う。
			(2) SNS投稿など情報発信した事業者数(社)	48(48)	達成	SNS投稿、会報、パブリシティなど複数メディアを活用した。次年度は、効果的な情報発信方法の検討を引き続き行っていく。
	3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築	5 組織力の強化、財政基盤の確立	(1) 組織率の維持向上 ※組織率(%)	58.7(59)	未達成	各種支援を通じて会員加入を促進した。一方、計画的な加入促進の取組ができなかった。今後、加入促進計画の策定、遂行していく。
			(2) 運営安定引当金の残高(万円)	3,300(3,300)	達成	当初予算どおりに引当金が計上できた。次年度も目標額引当のため、業務効率化による経費削減など費用圧縮に努める。
		6 職員の資質向上、経営支援力の向上	(1) 経営分析による経営支援実現数(件)	24(27)	未達成	モニタリングレポートの提供件数の減少により、経営分析を通じた支援件数が少なかった。次年度は経営分析結果の提供数を増加し、チームによる支援実現数を向上させる。
			(2) 経営支援に必要な研修派遣数(件)	15(13)	達成	中小企業診断士の資格を有した指導員による研修、オンデマンド研修の活用によりスキル習得につながった。次年度も様々な形を模索し、必要な資質を得るための研修受講を促進する。
(3) 経営支援に必要な資格取得数(件)			2(6)	未達成	資格取得にチャレンジする職員が少なかった。業務に役立つ資格をリストアップし、資格取得奨励を行う。	

戦略	施策	達成状況※1	施策目標（指標）	R7実績値（目標値）	達成状況※2	施策目標に関する検証及び次年度への改善点（要約）	
独自戦略	1 ニューノーマル・働き方改革のためのDXの推進	7 労働力確保の推進	(1) 就職情報誌への掲載事業者数（社）	52（52）	達成	役員・会員からの口コミで情報誌の掲載数を増加できた。次年度も求職者に向けた企業PRのツールとして、情報誌の掲載提案を行っていく。	
			(2) 健康経営や女性活躍等の行動計画登録者数（社）	26（31）	未達成	一般事業主行動計画策定提案を行ったものの、策定メリットが伝わらなかった事業所が多かった。次年度は補助制度活用時の加点メリットなど伝え、策定件数増加を図る。	
		8 小規模事業者のデジタル化の推進	(1) セミナーなどによる支援件数（件）	43（60）	未達成	セミナー開催周知後の個別声掛けが足りず、件数達成できなかった。次年度は巡回・窓口相談を通じてデジタル活用の必要性を示し、デジタル化推進を図る。	
			(2) ICT導入事業者数（社）	40（35）	達成	デジタル活用を希望する事業所へ支援を行い、目標達成できた。次年度も同様に「域外の需要開拓」「業務効率化」の視点でIT導入支援を推進していく。	
	2 連携で生み出すイノベーションの推進	9 地域資源のプロデュース機能の構築	(1) 分析・課題の整理数（件）	4（4）	達成	若者が地域に残るため、行政・支援機関の現状の取組内容を精査する必要があることを課題とした。今後も地域の課題抽出をはかるため、情報を整理していく。	
			(2) 課題解決のための取組数（件）	4（3）	達成	地域資源活用による課題解決の取組として「道の駅連絡協議会設立支援」「鹿角高校の下宿整備支援」を行った。次年度も課題解決に必要な取組を検討し、実行していく。	
		10 かつの産業振興会議（仮称）による地域活性化の推進	(1) 行政懇談会の開催数（回）	2（2）	達成	各首長が顔合わせし、地域課題解決に向けた意見交換をする「行政懇談会」を実施した。今後も同様に事業推進していく。	
			(2) 提言の実現数（件）	4（2）	達成	業種別部会で事前の話し合いの機会を設け、提言につながる意見を抽出し、行政懇談会で提言した。過年度提言された取組も含め、実現可能性について検証をしていく。	
		達成数計	4/10		達成数計	14/21	

※1 達成状況には、「達成」「未達成」のどちらかを記入

※2 本年度目標設定していないものは「—」で表示。達成数計の分母はこれを除く